Public Relations Kyotango

広報きょうたんご

vol.92

主な内容

大宮こども園（仮称）を開設

市政トピックス ・「多様な生物育む地域づくりへ連携」

フォトグラフ 23年ぶりの「よいやさぁ」弥栄町吉沢区で太鼓奥が復活

ほか

2011
平成23年
11月号

目　次
index

大宮こども園（仮称）を開設　P2

市政トピックス　P4
多様な生物育む地域づくりへ連携／市立2病院の連携・調整機能を強化　ほか

市政guide　P6
諮問機関が条例や計画の見直し案を市長に答申／国保だより

フォトグラフ　P8
23年ぶりに弥栄町吉沢区で太鼓奥が復活

まちのわだい　P10
「ノルディックウォーキング」で、かぶと山散策／高田松原の再生を／いのちを考える教室　ほか

京都府のひろば　P12

健康だより　P13

みんなの広場　P14

消防の広場　P16

京たんごスポーツ　P18

生命の絆・ジオトピックス　P19

情報ファイル　P20
市の文化財／図書館だより／広報クイズ　ほか
※みんなの声の応募用紙

京丹後人19　P24
峰山高等学校校軽音楽部
西田 優奈さん（宮津市須津）　竹中 絵理さん（大宮町口大野）

来年4月から

大宮こども園（仮称）を開設
段階的に幼保一体化へ

来年4月から、大宮南保育所内に新たに幼稚園を設けた「大宮こども園（仮称）」を開設します。今回は、こども園の概要や今後の幼保一体化に向けた市の計画内容についてお伝えします。

丹後こども園に次ぐ2カ所目

「大宮こども園（仮称）」は、0～5歳児を対象とする保育所と、3～5歳児を対象とする幼稚園を同じ施設内で運営するもので、丹後こども園（丹後町）に次いで市内で2カ所目となる幼保一体化（注①）の施設です。

大宮こども園は、今年3月に改訂した市保育所再編等推進計画に基づいて設置するもので、幼稚園のカリキュラムを保育所の3歳以上の児童にも導入するのが特徴。平日の8時30分から11時30分までは、幼稚園児童と保育所児童が一緒に活動します。

また、両こども園の幼稚園と峰山幼稚園、網野幼稚園では、来年4月から「預かり保育」を開始します。

「預かり保育」とは、保護者の希望に応じて幼稚園の終業時間（14時30分）から16時30分まで、幼稚園の管理の下で幼稚園児を保育するもの。月単位で利用でき、預かり保育料は、月額1万2千円（8月は、2万円）です。

幼保を生かした「こども園」

「幼稚園」は、集団生活の中で子どもたちの自立や自信を育てるために、就学前教育を行うことを目的とする施設。

一方、「保育所」は、保護者に代わって保育をするとともに、0歳児保育や延長保育など、多様化するニーズに対応した保育を目的とする施設です。

「こども園」は、両施設を一つ屋根の下で運営することで双方の利点を生かし、子どもたちの教育と保育を充実させることを目的としています。

段階的に「こども園」を開設

市では、国の「幼保一元化（注②）」政策を踏まえたつつ、保育所再編等推進計画に沿って、今年度から平成27年度にかけて市内の保育所を再編。峰山町、弥栄町、久美浜町では、再編により統合した保育所で、こども園の検討を進めます。

なお、網野町では、現在、保育所の統合は計画されていません。当面は現行の形を維持します。

来年度から幼保一体化施設「大宮こども園（仮称）」が開設される大宮南保育所

注①【幼保一体化】
幼稚園と保育所を同じ施設内で運営すること。幼稚園は文部科学省、保育所は厚生労働省が所管し、別々の制度の下で施設を共用して運営する。幼保一元化に向けた取り組みのひとつ。

注②【幼保一元化】
幼稚園、保育所を統一した制度で運営すること。国は、今後「子ども家庭省（仮称）」を新設し、平成25年からは両施設を統合した「総合施設（仮称）」の運用を検討している。

こども園の概要

《対象年齢》
保育所…0～5歳児
幼稚園…3～5歳児

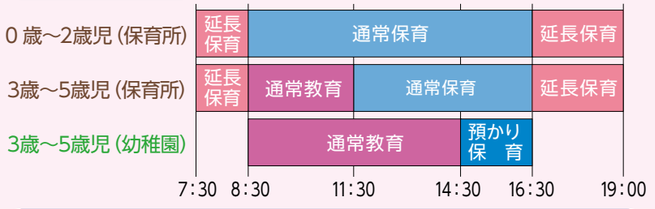
《定　員》
保育所…大宮・200人、丹後・120人
幼稚園…それぞれ80人（予定）

《給 食 費》
保育所…保育料に含まれる
幼稚園…大宮・月額3,500円
丹後・月額3,600円

《保 育 料》
保育所…所得階層により、
0～2歳児・月額0円～75,400円
3～5歳児・月額0円～45,800円
幼稚園…月額9,500円

こども園の一日

（大宮こども園（仮称）・丹後こども園）



《入園募集期間》 平成23年11月10日（木）～12月2日（金）

大宮こども園（仮称）　丹後こども園

▶こども園への応募は、各保育所・幼稚園でそれぞれ募集しています。
▶詳しくは、おしらせ版（11月10日発行号）7ページをご覧ください。

今月の笑顔　安藤 理絵（あんどう りえ）さん（丹後町徳光）

プロフィール
平成5年2月生まれの18歳。間人中学校から峰山高校に進学。今年の春に卒業し、社会福祉法人みねやま福祉会に就職。現在、弥栄はごろも苑の通所介護を担当。社会人1年目として勉強ずくめの毎日を送っている。

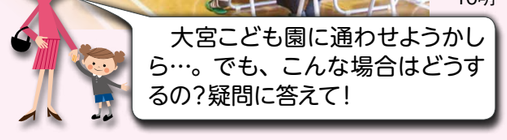
◆趣味は？
デッサンです。月に1、2度は市内外をドライブして、目に留まる景色を描きます。描いていると雑念がなくなってきて、スッキリします。

◆京丹後市のおすすめスポットは？
網野町の八丁浜です（表紙写真）。シーサイドパークはごみもなくきれいに整備されているので居心地が良いです。愛犬のポコ（表紙写真・プードル）もここが好きみたいなので、よく連れてきます。

◆好きな食べ物は？
グラタンです。ブロッコリーと玉ネギ、エビは必須。私もよく作りますが、やっぱり母の作るグラタンが、心から温まっておいしいです。

表紙企画「今月の笑顔」に登場していただけるかたを募集しています。ご希望のかたは、広報係（☎69-0110）までご連絡ください。自薦他薦を問いません。

大宮こども園（仮称）の説明会の様子（大宮南保育所で10月16日）



Q 幼稚園の定員（80人）を上回る応募がある場合はどうなりますか？

A 現在、クラスを増やすことで、申し込み者全員を受入れる方向（規則の改正）で検討しています。なお、応募状況を知りたいかたは、お問い合わせください。

Q 保育所と幼稚園の行事は、別々に行うのですか？

A 運動会や遠足などの大きな行事は、一緒に行います。

Q こども園に多くの子どもが入園すると、それぞれの子どもの自主性が伸びなくなるのでは？

A 子どもの人数に合わせて、適切な教育・保育を行います。職員が不足する場合には、市の基準に沿って増員します。

Q 4月から幼稚園に通わせる予定です。「急な用事で迎えが遅くなる」という場合はどうすればいいですか？

A 事前に申請をしていただければ、保育所の制度の「一時預かり事業」を利用できます。平日は夕方7時まで、土曜日は昼12時30分まで預けることができます。

Q 「預かり保育」を利用したいのは月に4日間程度です。日割り計算してもらえますか？

A できません。預かり保育は、月単位の利用ですので、月額の保育料1万2千円（8月は2万円）が必要です。月に数回だけなら、「一時預かり事業」の利用をおすすめします。

Q こども園内の幼稚園の降園時（14時30分）に、通園バスの運行はありますか？

A ありません。なお、保育所の通所バスが運行する運行経路上の地域のかたは、登所8時30分、降所16時30分のバスを利用できます。

Q 上の娘が保育所、下の息子が幼稚園にいる場合、幼稚園の利用料は減免されますか？

A 人数による減免はありません。幼稚園の利用料は兄弟姉妹が複数でも一律です。なお、兄姉が幼稚園に在園中に、弟妹が保育所に入所する場合は、その年の保育料のみ2分の1減額の適用があります。また、3人目が保育所に入所する場合は、保育料は0円（免除）になります。

詳しくは、教育委員会学校教育課（☎69-0620）または市民部子ども未来課（☎69-0340）までお問い合わせください

広域連携

多様な生物育む地域づくりへ連携

豊岡市と京丹後市が「コウノトリもすめるさとづくり共同宣言」を採択

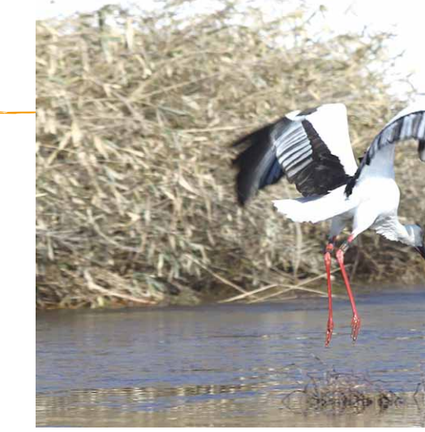
兵庫県豊岡市と京丹後市が連携し、但馬・丹後地域の振興策を協議する「京丹後市・豊岡市合同会議」が10月17日、両市長らが出席し、豊岡市内で開かれました。両市が協力して多様な生物を育む地域づくりを進めるための「コウノトリもすめるさとづくり共同宣言」が採択されました。

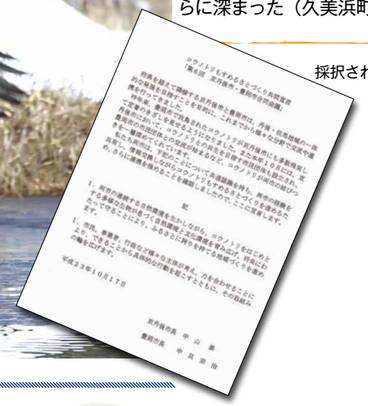
豊岡市で放鳥されたコウノトリが、昨秋から本市にも飛来するようになり、農家の有機農業や減農薬栽培への関心も一段と高まっています。

市民団体「コウノトリと共生するまちづくりネットワーク京丹後」（野村重嘉代表）がこの10月に久美浜町で設立され、市民間の交流も始まるなど、コウノトリを定着させる市民活動も盛んになっています。

また、今年度市が策定した「京丹後市生物多様性を育む農業推進計画」に基づく環境負荷を低減させる農業が全市域に広がりつつあるなど、コウノトリを巡る環境意識の高まりを背景に、両市が共通認識を持って自然環境保全活動を進めていくため、共同で提案されたものです。

宣言は、コウノトリをはじめとする多様な生物が息づく自然環境と文化環境を育み広げ、将来にわたって守ることにより、ふるさとに誇りを持てる地域づくりを進める▼市民や事業者、行政が力を合わせて行動し、取り組みの輪を広げる―ことが明記されています。


コウノトリが縁となり、豊岡市と京丹後市の結び付きがさらに深まった（久美浜町の川上谷川流域で今年２月撮影）


採択された共同宣言

医療

市立２病院の連携・調整機能を強化

京丹後市立病院連携機構が発足

市では11月1日、市立弥栄病院（安原正博院長）と市立久美浜病院（赤木重典院長）の連携・調整機能を強化し、高まる医療ニーズへの対応や医師不足などの課題の解決を一体的に進めるため、「京丹後市立病院連携機構」を設置しました。

同機構は、市医療部医療政策課（市役所峰山庁舎内）に事務局を置き、両病院の院長や副院長、看護部長、事務長と市医療部長の9人で構成。代表に安原院長が、副代表に赤木院長がそれぞれ就任しました。

所掌する事務は、医療提供体制の確保に係る重要事項の調整▼医師や看護師体制の確保▼経営計画の調整要事項の調整▼人事交流および人材育成―など。今後、両病院における医療提供を基本に、それぞれの得意分野を生かしながら、質の高い安定した医療提供の充実を図ることとしています。

安原代表は「両病院の連携がうまく機能すれば、市全体の医療はさらに充実すると考えている。それぞれが持っている得意分野を生かしながら、患者目線に立った医療を提供するため、可能なことから実行していきたい」と話しています。

新機構の看板を事務局に掲げる安原代表（右）と岩見均久美浜病院副院長（11月1日）

冒頭のあいさつで、両市のさらなる連携を呼び掛ける中山市長（中央）。右は中貝豊岡市長

人権

法務大臣から委嘱

人権擁護委員に４氏

任期満了に伴う市の人権擁護委員の委嘱状伝達式が10月13日、市役所峰山庁舎であり、安達みね子さん（大宮町久住）、田中直子さん（峰山町新治）、給田敏之さん（網野町網野）、増田秀生さん（丹後町間人）に、法務大臣の委嘱状が京都地方法務局京丹後支局の春名貴英支局長から手渡されました。

任期は、今年10月1日から3年間です。

（新任）田中 直子さん

（再任）安達 みね子さん

（新任）増田 秀生さん

（新任）給田 敏之さん

財政

一般会計補正予算第5号（10月臨時市議会）

学校再配置関連など1億4千万円

1億4123万円を追加し、予算総額329億6895万円とする平成23年度京丹後市一般会計補正予算（第5号）が、10月24日に招集された臨時市議会で可決、成立しました。主な補正内容を紹介します。（金額は補正予算額）

神野小学校増改築事業 2043万円

久美浜町の田村小学校と神野小学校、湊小学校の3校を平成25年4月に再配置する計画としているため、拠点校とする神野小学校の増改築工事に必要な実施設計費などを計上しました。

平成24年度に増改築工事が予定されている神野小学校（久美浜町）

久美浜中学校増改築事業 1209万円

久美浜町の久美浜中学校と高龍中学校の2校を平成25年4月に再配置する計画としているため、拠点校とする久美浜中学校の増改築工事に必要な実施設計費などを計上しました。

災害復旧事業（台風15号） 8940万円

9月の台風15号に伴う災害復旧費。農地・農業用施設に1960万円、林業用施設に1990万円、公共土木施設に4640万円、保健体育施設に350万円を計上しました。

節電

市役所などの節電対策、7～9月の3カ月間実施

電力使用量、前年同月比16％減

市が関西電力㈱の節電要請を受けて、この7月1日から9月末までに取り組んだ庁舎などの節電対策の実績がまとまりました。3カ月間の電力使用量は、前年と比較して16・58㌽減となり（下表）、市が目標として設定していた12㌽を約4㌽上回りました。

市役所各庁舎と市福祉事務所では、冷房温度設定を29度に引き上げ▼照明の間引き点灯や不要な照明の消灯▼パソコンディスプレイのこまめな電源オフーなど昼間の電力使用を抑制してきました。

また、廃棄物や下水道、し尿の処理施設では、作業を平日から土、日曜へシフトするなどの運転調整を実施。平日ピーク時間帯の節電に努めました。

ご来庁の皆さまにはご不便をお掛けしましたが、ご協力ありがとうございました。

電力使用量前年比較表

（単位：kwh）

	平成22年	平成23年	差　引	比　較
7月	222,397	**194,668**	△27,729	△**12.47%**
8月	263,247	**213,682**	△49,565	△**18.83%**
9月	228,709	**187,533**	△41,176	△**18.00%**
合計	714,353	**595,883**	△118,470	△**16.58%**

（注）廃棄物処理施設などで実施したピーク時間帯の運転調整による削減量は含んでいません。

○まちづくり基本条例の見直し

京丹後市まちづくり委員会

市が京丹後市まちづくり委員会（板垣久彌会長、12人）に諮問していた「京丹後市まちづくり基本条例」の見直しについての答申が9月29日、中山市長になされました。市ではこの答申を基に、同条例の一部改正を検討。12月定例市議会に改正案を上程することとしています。

同条例は、市のまちづくりの基本的な事柄を定めた最高規範で、前文と32条で構成。4年以内ごとに「本市にとってふさわしいものであり続けているかどうかを検討して見直すこと」とされ、この6月に同委員会に諮っていたものです。

委員会では、市民や地域団体などに意見を聞いたりアンケート調査を行ったりして、計7回にわたり審議されました。

答申では、「市民にわかりやすい条文とするため、字句の修正が必要な箇所がある」と指摘。第13条（青少年の権利）について、子どもへの権利付与には大人側の配慮が必要であるとし、「市民団体および市は、青少年のまちづくり参加の機会づくりに努めること」を追記するよう求めています。

また、第15条（市議会議員の責務）と第16条（市長の責務）では、政治家の基本であるとして、政治倫理の遵守を求める文言を加えた修正を提案。

さらに、子どもの育成をうたった第30条では、子どもたちの健全育成のための市および市民が有する責務に関し、「『子どもが健やかに育つ環境をつくる』を『子どもを学校や家庭のほか地域が支え、安心して子育てができる環境をつくる』に文言を修正する必要がある」などとしています。

委員会では答申に際して、国の法改正などに伴う現行制度の見直しや市政運営の取り組みなどについては、変更の必要はない▼条例の周知に欠けているため、積極的に市民に周知する必要がある―と意見を付しています。

第1回京丹後市まちづくり委員会（6月28日）

諮問機関が条例や計画の見直し案を市長に答申

○京丹後市健康増進計画 中間評価・見直し（案）
○第２次京丹後市障害者計画（案）
○第２次京丹後市地域福祉計画（案）

京丹後市健康と福祉のまちづくり審議会

市が「京丹後市健康と福祉のまちづくり審議会」（細野耕一会長、26人）に諮問していた健康と福祉関連の3つの計画についての答申が10月13日、中山市長になされました。市は、この答申に基づいて計画案を作成。市議会の議決を得た上で、来年4月からの施行を予定しています。

昨年12月に市長の諮問を受けた同審議会（専門部会）では、現計画での施策や事業の進ちょく状況などを点検。アンケート調査などの結果を踏まえた改定案が答申されました。

京丹後市健康増進計画（案）

来年度が目標年度（平成28年度）の中間年に当たることから見直しが進められているもの。

案では、主旨や基本方針に、「健康大長寿のまちづくり」「命を大切にする地域づくり」の観点を追加。「自殺対策やうつ病予防」「節度ある適切な飲酒」「がん予防」を施策の重点項目として、新たに打ち出しています。

初審議会の様子（昨年12月17日）

第２次京丹後市障害者計画（案）

来年度から6年間の障害者施策の基本指針を定めるもので、案では、障害者基本法の改正や第1次京丹後市総合計画（後期基本計画）との整合性を重視。基本目標に「共生社会の実現に向けた環境づくり」や「障害者雇用の促進」など5項目を設定しています。

推進施策については、新たに「生きがい・社会参加支援」を追加。計画の実現に向けた取り組みとして、広報・啓発活動の推進などを定めています。

第２次京丹後市地域福祉計画（案）

来年度から5年間の地域福祉のあり方を示したガイドライン。案では、現計画の基本理念や基本目標、取り組みの方向を引き継ぐこととした上で、新たに施策の目標数値を設定。計画推進に当たっては、「支え合いの地域づくり推進委員会」で、評価・検証することとしています。

国保だより

実質単年度収支、3589万円の黒字

1人当たりの医療費は27万7千円

平成22年度 国保会計決算

非常に厳しい国保財政

平成22年度の国民健康保険（国保）事業特別会計の決算は、歳入総額73億2623万円で、歳出総額は71億6704万円となりました。歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は、1億5919万円の黒字となっています。

このうち、前年度からの繰越金1億2330万円を差し引いた実質的な単年度収支は、3589万円の黒字となりましたが、国保財政の状況は非常に厳しいものとなっています。

国保税率の改正、保険給付費は増加傾向

平成22年度は、国保税率の改正により、1人当たりの保険税は7万6768円となりました。

国保の医療費は毎年増加しており、平成22年度の保険給付費は46億2527万円。1人当たりの医療費は27万6711円で、前年度に比べて約1万円増えました（**表**）。

保険給付費が多く掛かる疾病は、入院では「悪性新生物」「統合失調症関係」（精神系の病気）「糖尿病」。入院外では「高血圧」「糖尿病」「悪性新生物」の順となっています（**資料**）。

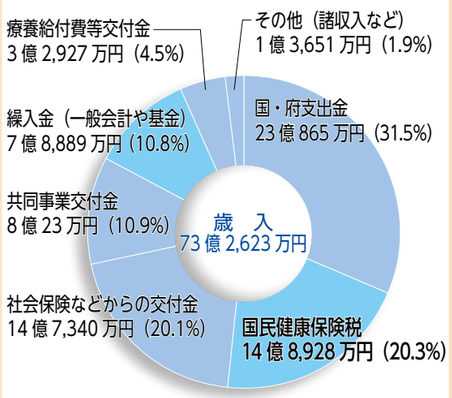
医療費の適正化を推進

医療費は、高齢化の進行などにより今後も増加が見込まれ、厳しい財政状況が続くと予測されます。市では今後も、後発（ジェネリック）医薬品の普及や医療費請求の審査などにより、医療費の適正化を進めます。

生活習慣病を予防し健康の維持を

日常の食生活の改善や適度の運動などは、受診機会の多い高血圧や糖尿病などの生活習慣病を予防することが期待されます。健康の維持、増進を図り、医療費を大切に使いましょう。

歳入・歳出の財政状況（割合）



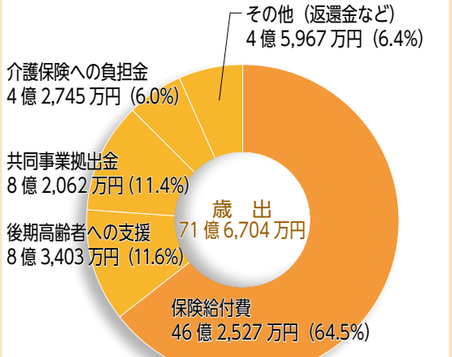
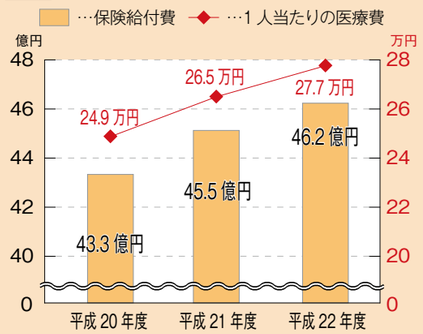


表　保険給付費と1人当たりの医療費



DATA　保険税・医療費を被保険者1人当たりに換算すると…

保険税（収入）	H21	66,435円	前年度比10,333円の増
	H22	76,768円	
医療費（支出）	H21	265,347円	前年度比11,364円の増
	H22	276,711円	

資料　保険給付費が多く掛かる疾病（H22.5月診療分）

入院	1位	悪性新生物（がん）
	2位	統合失調症関係（精神系の病気）
	3位	糖尿病
入院外	1位	高血圧
	2位	糖尿病
	3位	悪性新生物（がん）

問 保険事業課 ☎69-0220

京丹後市の国保加入者（平成23年9月30日現在）　世帯数：10,279世帯、被保険者数：19,552人

フォトグラフ

23年ぶりの「よいやさぁ」

弥栄町吉沢区で太鼓輿が復活

4 多くの区民が沿道で声援を送る 5 初めて見る太鼓輿に子どもたちも大はしゃぎ 6 若者たちで盛り上げた太鼓輿は、夜遅くまで巡行した 7 祭りを機に、世代を超えたコミュニケーションも

「子どもたちに残してやりたい」

市内各地で秋祭りが行われた10月8日（土）、弥栄町吉沢区（103世帯・9月末現在）では、23年ぶりに「太鼓輿」が復活した。2人のたたき手が勇壮に太鼓を打ち鳴らし、担ぎ手は「わっしょい、よいやさぁ」の掛け声で威勢よく集落内を練り歩いた（写真）。

きっかけは今年の春。区内の30～40歳代の若手が「ぜひ復活したい」と、区に相談を持ち掛けた。吉浪渉さん（40）は、「小・中学生のとき、大きな太鼓輿と活気のある祭りを見て興奮した。『ようやく参加できる』という歳になったときから巡行しなくなり、ショックが大きかった。必ず自分たちで復活させて、子どもたちに残してやりたいと思っていた」と振り返った。

室田光彦区長（67）は「祭りを生かして地域を活性化させたいという思いは、若者も年寄りも同じ」と、消防団員や区の役員ら9人で太鼓輿実行委員会を立ち上げて準備を進めた。

当日夕方5時、約50人が神輿の前に集結。太鼓が力強く打ち鳴らされると、掛け声とともに神輿が担ぎ上げられ、祭りが始まった。

沿道には、一目見ようと多くの区民が詰め掛けた。「復活すると聞き、夫、子どもと一緒に里帰りしました。夫は担いでいます」と復活を喜ぶ女性の姿も。

太鼓輿は、行く先々で声援を受けながら、集落全域3.3㎢の道のりを約5時間かけて回った。

実行委員長の土肥靖昌さん（70）は「祭りを覚えている者が少なくて、資金繰りから神輿の組み立て、飾り付けまで手探りで進めた。一番の不安は、区民の反応だった。でも、ふたを開けてみると、多くのかたから思った以上の寄付や料理、休憩場所の提供をいただいた。祭りは大成功。町おこしにつながる」と、胸を張った。

1 昔の神輿を思い出しつつ飾り付けする土肥靖昌さん（右上）ら 2 23年ぶりにコンビを組んだたたき手の土肥勝さん（右）と森重俊さん 3 復活への中心的役割を担った吉浪渉さん（手前）が先導役を務めた

吉沢区太鼓輿

- 製　造　昭和22年
- 重　量　800kg
- 長　さ　10m（担ぎ棒）
- 神　輿　1.3m四方（井垣部）
- 素　材　骨格部はケヤキ、装飾部はヒノキ
- 太　鼓　鼓面48cm（1尺6寸）
- 担ぎ手　30人

「フルディウォーキング」で、かぶと山散策

神野地域里力再生協が初開催、63人が心地よい汗

10月16日　久美浜町

久美浜町の「かぶと山」（標高192メートル）周辺をノルディックウォーキングで散策する「かぶと山秋路健康ウォーク2011」が10月16日、神野小学校（同町神崎）をスタートし久美浜健康センター（同町浦明）をゴールとする約5キロのコースで開かれました。町内外の家族連れや友人グループなど63人が参加し、心地よい汗を流しました。

ノルディックウォーキングは、スキーのストックに似た2本のポールを使用。通常のウォーキングに比べてエネルギー消費量が増す上、足腰への負担が少ないとして注目されています。

神野地域里力再生協議会（松本義雄会長）が初めて開催。参加者たちは、仲間との会話を楽しみながら、久美浜湾が一望できる登山ルートを軽快に歩きました。

高尾憲代さん（同町口馬地）は「興味があったノルディックウォーキングに初めて挑戦しました。久しぶりのかぶと山を楽しみました」と笑顔。松本会長は「ポールのおかげで思った以上に登山が楽でした。参加した皆さんも効果を実感してもらえたのでは」と話し、連続開催に意欲をのぞかせていました。

健康センターでは、地元の郷土料理「茶がゆ」やうどんなどが振る舞われ、参加者たちは山歩きの疲れを癒していました。

“ノルディックポール”を使ってウォーキングを楽しむ参加者たち（久美浜町神崎地内）。ポールは、神野地域里力再生協議会が今回50セットを購入した

「高田松原の再生を支援しよう」

白砂青松保全委がクロマツの苗木作り

10月23日　網野町

「高田松原」の再生を願ってポット苗を作る子どもたち

「東日本大震災で壊滅的な被害に遭った岩手県陸前高田市の名勝“高田松原”の再生を支援しよう」と、琴引浜の海岸林保全に取り組む網野町の琴引浜白砂青松保全委員会（岡田一雄委員長）は10月23日、被災地に届けるクロマツのポット苗を作りました。同委員会では「数年がかりで苗木を育てて、被災地の復興に区切りがつけば届けたい」としています。

琴引浜周辺で行われた「第6回琴引浜保全ツアー」の取り組みで、市内外の小学生など35人が参加。午前は、浜の周辺で採取した自然発芽の幼木をポットに移植。午後は、琴引浜鳴き砂文化館（同町掛津）に移動し、府緑化センター（福知山市）から取り寄せた苗木をポットに移し替える作業を行いました。参加者たちはこの日、約1,000個のポット苗を作り上げました。

岡田委員長は「1万本程度を届けることを目標に、活動を継続していきたい」と意気込んでいます。

峰山中生徒が京丹後の茶生産学ぶ

京丹後製茶工場訪問、製造過程など見学

10月13日　峰山町

峰山中学校の1年生が10月13日、京丹後製茶工場（久美浜町永留）を訪問し、本市のお茶生産について学びました。

地元の産業を知る総合学習の一環で行われ、12人が参加。府丹後農業改良普及センター職員・堤保三さんの案内で、機械設備や製造過程を見学したり、蒸した茶葉の香りや手触りを体験したりしました。

堤さんは、市内に約48ヘクタールある茶園で、「煎茶」「かぶせ茶」「てん茶」が生産されていることや、茶葉の摘み取り作業は、府南部の主要産地と異なり大型機械で行われていることなどの特徴を説明。「市内の『道の駅』などで販売しているので、ぜひ味わってほしい」と呼び掛けていました。

生徒たちは「市内でお茶の栽培が始まったきっかけは何か」「荒茶ができるまでどれくらいの時間がかかるのか」など質問し、熱心にメモを取っていました。横田秀人君は「機械が多いことにびっくりした」と感想を話していました。

蒸した茶葉の香りを試す生徒たち（京丹後製茶工場内）

森林と農地への理解、体験で深める

「丹後森林農業体験教室」に親子ら45人

10月23日　弥栄町

「丹後森林農業体験教室」（丹後土地改良区主催）が10月23日、丹後あじわいの郷（弥栄町）周辺で行われました。同町内の親子連れなど45人が、農業体験や里山散策など多彩な催しを通して、森林や農地、水源の役割と重要性を学びました。

参加者たちは、国営開発農地の鴨谷団地内にある観光農園でナシ狩りを体験した後、鳥取第1団地に移動し、農業用貯水池を見学。丹後あじわいの郷では、園内の散策路を歩いて植物観察をしました。木の枝を使った鉛筆や名札を作る木工教室もあり、子どもたちは思い思いに作品を作り上げていました。

弥栄町和田野から参加した大槻隼也（おおつき・しゅんや）君は、お母さんに抱き上げてもらいながらナシ狩りに挑戦

依遅ヶ尾登山、50人が楽しむ

標高540メートルで「夢風船」放ち、大声競う

10月16日　丹後町

依遅ヶ尾山山頂で「夢風船」を一斉に放つ参加者たち

秋の依遅ヶ尾山（丹後町）への登山を楽しむ催しが10月16日に行われ、町内外から訪れた約50人が標高540メートルの山頂を目指しました。

「“丹後町のシンボル”に登り、豊かな自然に親しもう」と同町の各地区公民館が合同で実施。地元矢畑区の「依遅ヶ尾祭り」に合わせて、昨年に引き続き2回目の開催となりました。

晴天となったこの日、参加者たちは額に汗を浮かべながら約1時間の山歩きを満喫。山頂では、日本海の眺望を楽しんだり、東日本大震災の被災地への応援メッセージなどを付けた「夢風船」を放ったりしました。

初企画の「大声コンテスト」には10人が挑戦。「京丹後市頑張ろう」など思い思いの言葉を叫んで、声の大きさを競い合っていました。

大宮中で「いのちを考える教室」

犯罪被害者遺族が講演、命の尊さ語る

10月18日　大宮町

暴力で長男を亡くした体験を振り返りながら、命の大切さを生徒に語る岩城順子さん（大宮中体育館）

「いのちを考える教室」（府、府警察本部共催）が10月18日、大宮中学校であり、全校生徒328人が命の尊さについて考えを深めました。

犯罪被害者遺族で府犯罪被害者支援コーディネーターの岩城順子さんが講演。「家族の幸せが一度に崩れ去った」と理不尽な暴力で長男を亡くした体験を振り返り、長く続く苦悩などを話しました。

最後に岩城さんは「自分を大切にしてこそ他人を大切にできる。被害者にも加害者にもならないで」と生徒たちに語り掛けました。

京都府のひろば
Since 2008.09
京都府で取り組んでいる市民生活にかかわる事業などについて紹介しています。

「食の安心・安全」の情報を共有。

市内の農産物、放射性物質は不検出

京都府では、放射性物質の検査結果など、食の安心・安全に関する情報を公表しています。また、府民の皆さんを協働サポーターとして、食に対する安心感を高めていきます。

放射性物質の測定器を用いて検査する様子（右写真は緑色、左写真は赤色の機械が測定器）

放射性物質検査は月2回、今後は豆類、肉類でも実施

府では、今年3月に発生した東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故に関して、京都府内産の農畜水産物に含まれる放射性物質をモニタリング検査しています。

検査は6月15日以降、毎月2回ずつ計画的に実施しており、ゲルマニウム半導体検出器（右写真）、ヨウ化ナトリウムシンチレーションスペクトロメータ（左写真）を使って、ヨウ素131、セシウム134、セシウム137を測定しています。

京丹後市（日本海沖）産の農畜水産物で、これまでに検査したものは、玄米、飼料用米、ナシ、サツマイモ、牧草、サワラ、マアジ、スルメイカ、養殖ブリで、すべての品目が放射性物質不検出でした。今後も、府内のミズナ、九条ねぎなどの野菜をはじめ、豆類、果物類、肉類、稲わらなどについて順次実施します。

検査結果は、京都府ホームページ【http://www.pref.kyoto.jp】内の「食の安心・安全きょうと」のページに掲載しています。

また、メールマガジン「きょうと食の安心・安全情報」でも、府の取り組みに関する報告や調査・検査結果を隔週でお知らせしています。（※メールマガジンの登録アドレスは、ページ右下をご覧下さい）

きょうと食の安心・安全協働サポーターを募集

府では、府民の皆さんに「食品表示」について関心を持っていただき、消費者トラブルを未然に防止するために「京都府くらしの安心推進員養成研修」を開催します（12月7日・アグリセンター大宮）。

研修を受講したかたを、「きょうと食の安心・安全協働サポーター」として登録し、食の安全に関する情報を身近な人に提供していただくとともに、日常の買い物などで見かけた食品表示が適切にされているか確認していただきます。食品表示の欠落などがあれば、情報を京都府へ提供していただきます。

また、食の安心・安全のための施策などについてもご意見をいただき、協働して取り組みを進めるための意見交換会やセミナーも開催します。

京都府くらしの安心推進員養成研修

日時：12月7日（水）
14時40分～15時40分
場所：アグリセンター大宮（大宮庁舎横）
内容：①最近の食の安心・安全に関わるトピックス
②食品表示、確認するポイントは？
応募：定員30人。1週間前までに電話、はがき、ファクシミリ、Eメールでお申込みください。
受講料：無料
参加者には、「くらしに役立つ食品表示ハンドブック」を差し上げます。

お申し込み・お問い合わせ
〒602-8570（住所不要）
京都府　食の安心・安全推進課
☎075-414-5654
FAX075-414-4982
shokuanzen@pref.kyoto.lg.jp

問 京都府丹後広域振興局
農林商工部企画調整室
（☎62-4315）

メルマガ登録
きょうと食の安心・安全情報 PC版メルマガ登録・解除
http://www.mag2.com/m/0000229580.html
きょうと食の耳より情報 携帯版メルマガ登録・解除
http://mini.mag2.com/pc/m/M0065891.html

健康だより

食べて、動いて、糖尿病を予防しよう

糖尿病は、日本人の死亡原因第11位の病気であり、放置すると脳卒中や虚血性心疾患などの原因となったり、重大な合併症を招いたりする恐れがあります。適切な量の食事と継続した運動で、糖尿病を予防しましょう。

そもそも、糖尿病って何？

食事により取り込まれた糖分は、最終的にブドウ糖（血糖）として血液中に供給され、人間（細胞）が活動するためのエネルギー源となります。このとき、ブドウ糖の濃度(血糖値）をインスリンというホルモンが調節しています。

肥満や遺伝的な要因によってインスリンの働きが弱くなると、血糖が細胞の中に届かずに血液中に残ってしまいます。これが、『糖尿病』です。

なぜ糖尿病になるといけないの？

過度に血液中に残った血糖は、血管を次第に傷付け、血管障害や動脈硬化を進行させます。自覚症状はほとんどないため放置してしまいがちですが、身体の機能に支障をきたして合併症を引き起こすことがあるため、注意が必要です。特に、3大合併症（注）による症状は生活の質を大きく損ない、時として命に関わる危険性もあります。

初期の合併症は、血糖コントロールにより進行を防ぐことができます。ところが、ある段階を超えると、どんなに血糖コントロールをよくしてもどんどん進行してしまいます。現時点では残念ながら進行した合併症を治す（元の状態に戻す）ことはできません。進行してしまう前に早期発見し、予防（血糖コントロール）することが重要です。

（注）3大合併症

●神経障害
合併症の初期症状として発症することが多く、手足がしびれるなどの症状が出てくることがあります。放置すると、歩行困難になったり、心筋梗塞を引き起こしたりすることもあります。

●網膜症
最悪の場合、失明に至ることもあります。成人の失明原因の第1位となっています。

●腎症
糖尿病性腎症は、人工透析が必要になる原因の第1位となっています。

予防のための食事と運動

食事編

①主食（糖質）は適量を

ご飯でも、パンでも、麺類でも、何を食べても良いですが、ご飯なら「この茶わんに1杯」などと量を決めて食べ過ぎないようにしましょう。

②主菜（肉、魚、卵、納豆）は1日トランプ2枚分

主となるおかずは、たんぱく質を含む食材から選びます。量は、1日にトランプの大きさで2枚くらい。2種類だったら、半分ずつにします。1日3回の食事で分けて選びましょう。

③副菜（野菜）は1食3種類

少なくとも、野菜は1食に3種類食べましょう。そのうちの1つは、緑黄色野菜を入れましょう。野菜は、3回の食事にいつも必要です。すべての野菜の量に対して、緑黄色野菜が3分の1以上入るのが目安です。

④お助け食材をストックしよう

乾燥キクラゲや切り干しダイコン、ワカメ、ヒジキ、干しシイタケ、冷凍野菜などは、野菜不足を補う〝お助け食材〟です。保存ができますので常備しておきましょう。

運動編

運動することによって、インスリンの働きがよくなり、血糖をコントロールしやすくなります。下図のスポーツを参考に、自分に無理のない運動を毎日続ける習慣をつけましょう。

インスリンが効率的に働くのは、運動に使われた部分の筋肉だけなので、全身の筋肉を満遍なく使うことができる運動が最適。身体に酸素を取り入れながら行う有酸素運動がおすすめです。

問：健康推進課（☎69-0350）

みんなのひろば広場

近畿公民館連絡協議会 優良職員表彰

松本 俊和（まつもと としかず）さん（63）（峰山町新町）【新山地区公民館主事】

平成12年4月から現在まで地区公民館主事として活躍。地域での子どもの体験活動事業に取り組むなど、長年の功績が評価されました。

府農山漁村伝承技能者登録

京都府が、府内で優れた生産技術（作物栽培など）・生活技能（郷土食など）を持っている人たちを技能者として登録するもので、本市からは次の2人が登録されました。

徳田 徳次（とくだ とくじ）さん（73）（峰山町鱒留（ますどめ））

【登録技能名】ケイトウ栽培

ケイトウ栽培の先駆的な技術導入を行い、独自の技術改善を進めるなど、栽培技能が優れていると評価されました。

谷川 美代子（たにがわ みよこ）さん（73）（大宮町三重）

【登録技能名】漬け物加工

三重生活改善グループに所属し、福神漬けを改良した「かあちゃん漬け」を開発するなど、加工技能が優れていると評価されました。

市火災予防ポスター 特選

「秋の全国火災予防運動」（11月9日～15日）の一環として、市消防本部が市内の小学4年生を対象に募集していた「火災予防ポスター」で、たばこの煙と火災を描いた稲岡祐希君のポスターが特選に輝きました。

稲岡 祐希（いなおか ゆうき）君（三津小学校 4年生）

そのほかの入選者

- 井本 彩来（さら）さん（網野北小）
- 坪井 優奈さん（網野南小）
- 原 侑花（ゆうか）さん（大宮第一小）

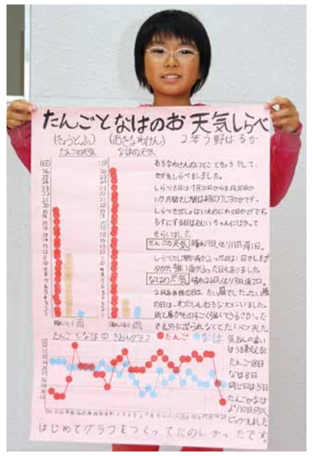
府統計グラフコンクール 京都府知事賞

作品タイトル
「たんごとなはのお天気しらべ」

統計に親しみ、統計グラフの表現技術の向上を目的に府が統計グラフコンクールを開催。

小学1、2年生の部で、京丹後市と那覇市（沖縄県）の天候や気温を比較した統計表を作成しました。

メリハリがあり、表現やグラフが見やすく、丁寧に仕上げられていることなどが評価され、知事賞に輝きました。



宇野 遥香（うの はるか）さん（鳥取小学校 2年生）

みんなの声 ご意見箱から

クマが出没した場所を詳しく放送して

「クマの出没が○○地区で増えています」という無線放送がありますが、例えば「○○地区の△△神社近くで」というように、具体的な場所を放送したほうが、住民が注意しやすいと思います。

【住所、年齢不明、性別・男性】

クマは広範囲に移動することがあります

クマは、エサがないときには広範囲に移動することがあります。このため、市では、クマが目撃された場所だけでなく、その周辺を広く注意していただくために、地区名で放送しています。

ただし、危険な状況によっては、場所を特定して放送する場合もあります。【農林整備課】

市内でも放射線濃度の測定を

福島原発の事故を受け、京丹後市内でも大気中の放射線濃度の測定を実施してください。

【住所、年齢、性別不明】

府峰山総合庁舎で測定し、公表されています

京丹後市内の大気中の放射線濃度は、京都府が峰山総合庁舎（峰山町丹波855番地）に移動可能型モニタリングポストを設置し、定期的に測定しています。

測定結果は、京都府ホームページで公表されています。

市ホームページ（「災害・気象情報」欄）からも京都府の当該ページにリンクできます。

【環境バイオマス推進課】

※本市（日本海沖）産の農畜水産物についての放射性物質の測定結果は、12ページの京都府のひろばをご覧ください。

網野庁舎前駐車場を私的に利用しないで

網野庁舎前の駐車場を車庫のように私的に利用し、常駐しているかたがいます。公共の駐車場なので、無断で私的な常駐はやめてください。

【住所、年齢、性別不明】

みんなが利用するためにモラルを守って

公共施設をみんなが気持ちよく利用するためには、一人ひとりのモラルが大切です。

モラルを守り、駐車場などの公共施設を利用していただきたいと思います。【網野市民局】

みんなの広場

ふるさと応援団話（ふるさとおうえんだんわ）

「京丹後ふるさと応援団員」の皆さんからお寄せいただいた故郷に対するさまざまな想いをお届けします。

成瀬 範子（なるせ のりこ）さん（75）
横浜市泉区在住
峰山町出身（旧姓：木成）
京丹後ふるさと応援大使

いとおしい丹後弁

京都駅31番ホームから特急「はしだて」に乗り込む。丹後弁がド、ドーッと私の耳に押し寄せてくる。なぜかほっとする。列車の中、もうそこは紛れもなく"丹後"だった。

かれこれ20年はたったのだろうか。横浜の友人を案内して丹後を回ったときのことである。初めて耳にする丹後弁に異邦人のように反応していた友人は、高校の国語の教師。バスの中や市場、私の家で熱心にメモを取り「標準語では何と言っているの？」と質問しっぱなしだった。実は、方言を授業に使ってみたいと考えていたようだった。

1階が埋まるほどの大雪に見舞われた昭和11年2月7日当時の成瀬さんの生家前

友人の丹後弁への評価は、意外なものだった。「表現が丁寧でとても上品な言い回しな上に、すごく可愛らしくも聞こえて、好き」と褒（ほ）めてくれたのだ。私にとっての丹後弁は、ただ単に田舎言葉であり、ダサイものと思っていたので、彼女の反応にはいささか驚かされた。

丹後弁を褒められたのは、これが最初で最後だったが、そんなことがきっかけとなり、私は日常生活の中で息子と丹後弁での会話を楽しんでいる。多分私は、丹後弁で癒されているのだろう。

丹後弁の会話の面白さは、語尾の抑揚に特徴があって、何かあいまいというか、常に聞き手を意識したり、同意を促したりするようなニュアンスがあることだ。私流に少し意地悪な見方をすれば、相手を立てる心遣いに重ねて、保身とも思える小利口（こりこう）さが見え隠れするようにも思えてくる。本質的には、京都弁と似たものを持っているのかもしれない。京都に住む友人たちは「それは違う」と答える人ばかりだが…。

丹後弁のゆったりのんびりの会話は、丹後人の気質にも大いに影響があるのだろうと思うと、また一段と丹後弁がいとおしくもなる。

「あほうげなことを、ようけきゃあて、悪かったなあ～あ」。

広報クイズの応募はがきから

▼10月号の特集「古都と京丹後」で、もっと多くのかたに丹後の食材のおいしさを知ってもらい、丹後に来てもらえたらいいなと思いました。人と人とのつながりって大切です。もっと、深めていきたいですね。【大宮町・50代・女性】

▼10月号の特集「古都と京丹後」は、京丹後出身の人たちが都会で頑張っている姿を知ることができてうれしかったです。機会があれば、ぜひ行ってみたいです。【網野町・50代・女性】

▼10月号の特集「古都と京丹後」。本当に古都と京丹後をつなぐ役割をされているように思います。本当に地元を愛し、京丹後の食材を古都に広げてもらってうれしいです。より良い食材づくりを京丹後で頑張っていかねばと思います。【久美浜町・60代・男性】

▼10月号の特集「古都と京丹後」で、京丹後市の人が京都市で、地元の野菜や魚を使って店を出して、京丹後市をPRしていてとてもうれしく思いました。【網野町・60代・女性】

▼10月号は、京丹後の味が全国で味わえるお店の紹介もあり興味深かったです。【丹後町・40代・女性】

▼10月号の広報紙、良かったです。まず特集「古都と京丹後」。そういったレストランが都市にもあることやオーナーのコメントに説得力があって、よく理解できる企画でした。また、「生命の絆」は、赤ちゃんの写真が多くて良かったです。町の活気につながります。これからも良い企画と美しい写真に期待します。【久美浜町・50代・男性】

▼11月19日の「ザイラー夫妻のピアノデュオ」は、ぜひ見に行きたいです。美山に行かなくても見られるのはすごくうれしいです。
また、丹後出身の人が、京都市内で店をされているのが分かり、すごく良かったです。この機会に行ってみたいです。改めて丹後の良さを感じました。【峰山町・40代・女性】

▼生命の絆を見ました。早く孫の顔が見たいです。【久美浜町・50代・女性】

▼広報きょうたんごを毎号楽しみに拝見しています。介護生活真っただ中なので家でいろいろな話題が見られて幸せです。毎日、頭と手を動かしています。【丹後町・70代・女性】

▼広報紙で京丹後市のことが細かいところまで分かり、楽しく読めます。【久美浜町・20代・男性】

▼広報紙でいろんなイベントなどよく分かって感謝です。市内に星が観測できるところがあるとか。ぜひ行ってみたいです。【大宮町・80代・女性】

▼弥栄病院で白内障の手術をしてもらいました。担当医は、緊張している私に優しい言葉をかけ、安心感を与えてくださいました。いつまでも、弥栄病院にいてくださいね。【大宮町・70代・女性】

▼先日、旧浜詰小学校の塩江地区OB・OG会に参加しました。なつかしい旧友に会って昔話に花が咲きました。またこんな機会を持ちたいものです。【網野町・60代・男性】

消防の広場

119
火事・救急・救助

平成23年6月からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されています

自助・共助の連携で

災害に立ち向かう

東日本大震災から約8カ月。大きな地震と津波を受けた被災地では、復興へ向けた取り組みが進められています。大災害を経験したいま、いつ・どこで遭遇するか分からない災害に対して、私たちができること、私たちがすべきことについて考えてみましょう。

■助ける側も被災者

災害が起これば、「自助・共助・公助」といわれる多くの力が結集しなければ、復旧・復興はかないません。中でも「公助」は、行政が行う支援活動で、被災者にとって大変重要な力です。

しかし、東日本大震災では、官公庁や消防・警察などが同時に被災し、本来担うべき公助の力を十分に発揮できませんでした。

大災害が起こると、助ける側が同時に被災者となり、「被災者が被災者を助ける」という状況になります。

津波で被災した南三陸町（宮城県）の防災対策庁舎

■「近所」で「近助」

建物の下敷きになるなどで多くの犠牲者が出た阪神淡路大震災では、消防・警察などの到着が遅れる状況にある中、同じく被災した近所の人たちが協力して、倒壊した建物の中から多くの人を助け出しました。その数は、消防・警察・自衛隊などが救助した人数をはるかに上回るもので、生存者の救出に大きな役割を果たしました。

助けを求める人の一番近くにいるのは、地域の中でも隣近所のかたなど身近な人たちです。

近所の人たちが協力し、自分たちの手で助け合おうとする「近助」の力が、かけがえのない多くの命を救い、また私たち自身を守ってくれることにもなります。

阪神淡路大震災
「近助」の力で２万7,000人を救助

阪神淡路大震災では、建物の下敷きになるなどの自力脱出困難者が約３万5,000人いたといわれており、その内77％の約２万7,000人は家族や近隣住民によって助け出されました。

以来、身近な人が助け合う「近助」という考えが注目され、身近にあるバールや車用のジャッキを活用するなど、自主防災への取り組みが活発になりました。

阪神淡路大震災で倒壊家屋に閉じ込められた人を近所の人が協力して救出する様子（提供:阪神大震災を記録しつづける会）

■日ごろから顔の見える関係を

いざという時に「近助」の力を発揮するためには、日ごろからの近所付き合いが大切です。

日常生活だけではなく、地域で行われる防災訓練などに積極的に参加し、防災について一緒に学ぶことで顔の見える関係をつくりましょう。

自分の家族に助けを必要とする人がいることや、近所に体の不自由な人や高齢者だけの世帯がないかなど、お互いのことを知っておくことが「近助」につながります。

■3日間を乗り切る力

他地域からの災害応援など、「公助」の体制が整うまでには、約3日かかるといわれています。

助けを待つだけではなく、家族・近所の人たちが協力して助け合い、この3日間を乗り切ることが大切です。

■支え合うまちづくり

大きな災害を前にすると、一人の人間ができることには限界があります。

日ごろから災害への関心や防災への意識を持ち、家族や地域を守るために自分たちに何ができるのかを考え、今の自分にできることを少しずつでも始めることが大切です。

一人ひとりの防災意識が近所の意識につながり、地域全体の防災意識につながります。支え合って、災害に立ち向かうことができるまちづくりを目指しましょう。

救急一口メモ

迷わず救急車を

市消防本部救命救急士
原　光海（ひろみ）

「脳梗塞（のうこうそく）」の前触れを見逃さない

脳梗塞は脳の血管が詰まる病気で、日本では寝たきり状態になる原因として第1位の病気です。

脳梗塞にはさまざまな症状がありますが、重要なことは、できるだけ早く病院で治療を開始することです。もし①片方の顔や手足がしびれる②片方の目が見えにくい③ろれつが回らないなどの症状が起こったら、それは脳梗塞の前触れかもしれません。迷わずすぐに救急車を呼んでください。①～③の症状は、数分程度で治まることがありますが、治まった後も頭の中では病気が進行している可能性があります。「これくらいなら大丈夫」と考えず、早く行動（治療）することが、後遺症の軽減につながります。

脳梗塞を予防するためには生活習慣の見直しが大切です。バランスの良い食事や適度な運動などを心掛けましょう。

お問い合わせ先　市消防本部（☎62-0119）　ホームページもご覧ください。
http://www.city.kyotango.lg.jp/kcfd/

生命の絆

A bond of life

生まれてきてくれてありがとう

このコーナーでは、弥栄病院で赤ちゃん誕生の瞬間を喜ぶご家族の姿を紹介します。ご応募いただいたかたすべてを掲載しています。どしどしご応募ください。詳しくは秘書広報広聴課「生命の絆」係まで 問☎69-0110

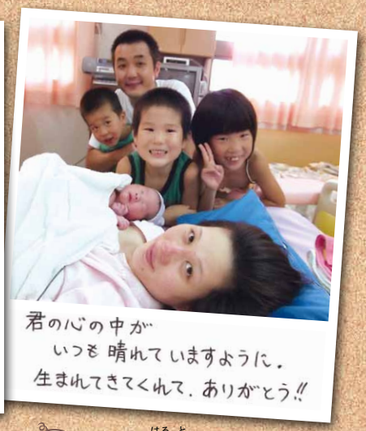
さとがえり

颯太くん生まれてきてくれてありがとう。
これから家族4人でしあわせになろうね。

磯上 颯太ちゃん（男の子）
9月生まれ・3,320グラム
母：由美さん　父：正尚さん
（大阪府貝塚市 /実家:峰山町長岡）

元気に生まれてきてくれたことに何よりも感謝しています。
これから一緒に成長していこうね。

山松 もかちゃん（女の子）
9月生まれ・2,914グラム
母：恵里さん　父：宏基さん
（峰山町菅）



君の心の中が
いつも晴れていますように。
生まれてきてくれて、ありがとう!!

松田 晴斗ちゃん（男の子）
9月生まれ・3,888グラム
母：香奈子さん　父：幸治さん
（丹後町中浜）

私達のところへ生まれてくれてありがとう。
これからいっぱい楽しいことしようね。

東 琉生ちゃん（男の子）
9月生まれ・2,668グラム
母：まどかさん　父：修平さん
（網野町島津）

生まれてくれるのが楽しみで
仕方なかった。誕生おめでとう!

田中 陸翔ちゃん（男の子）
9月生まれ・3,460グラム
母：友子さん　父：豊隆さん
（網野町島津）

思いやりのある元気な子に育ってね

石田 優利愛ちゃん（女の子）
9月生まれ・2,978グラム
母：留美子さん　父：宏志さん
（大宮町善王寺）

このコーナーについて、ある市民のかたから、「このコーナーに載っているのは、多くが本市出身の市外に住んでいるかたです。これでは本市に住んでいるかたが載らないのでは？」と“ご意見箱”に投稿がありました。

先月（10月）号はたまたま本市出身のかたの掲載希望が多く（半数）ありました。このコーナーでは、希望者すべてのかたを掲載します（お断りはしません）ので、どうぞご安心ください。

750人が海岸沿いを快走

10月16日

あみの八丁浜ロードレース大会

①5キロ、10キロ、ハーフマラソンの選手約400人が一斉にスタート②海岸沿いを軽快に走る選手たち（2.5キロの部）

さわやかな秋晴れとなった10月16日、あみの八丁浜ロードレース大会（同実行委員会主催）があり、市内や京阪神から約750人が出場。八丁浜周辺の海岸沿いを快走しました。

網野北小をスタート、ゴールとする2・5キロ、5キロ、10キロ、ハーフ（約21キロ）の4部門で健脚を競いました。

招待選手として国際大会などで活躍した網野町出身の田茂井宗一さんと志水見千子さんもレースに参加しました。

大会結果は次のとおり。

（各部門の一位・敬称略）

【2・5キロの部男子】出口光（与謝野町）**【5キロの部男子】**浜野 怜（宮津市）**【同女子】**志水杯▼木村 円佳（本市久美浜町）**【10キロの部男子】**田茂井杯▼藤村 耕大（本市網野町）**【同女子】**藤井 雅子（兵庫県加東市）**【ハーフ男子】**市長杯▼松尾 哲裕（与謝野町）**【同女子】**同▼勢籏 はるみ（舞鶴市）

橘小が2連覇

京丹後市小学駅伝競走大会

10月22日

10月22日、第20回京丹後市駅伝競走大会（市小学校体育連盟など主催）が、途中ヶ丘公園周回コースで開催され、児童たちが沿道の声援を受けながらタスキをつなぎました。

市内29校から35チーム280人が出場。4～6年生男女3人の混合6人で6区間計12・7キロの距離を競い、橘小が46分30秒の大会新記録で2連覇を成し遂げました。3位までの入賞校は下記のとおり。

優　勝　橘　小　46分30秒（大会新）
準優勝　溝谷小　48分22秒
3　位　長岡小　48分30秒

沿道の声援を受け懸命に走る選手（途中ヶ丘公園）

久美浜湾で39人が熱戦

ジュニアカヌースプリント秋季大会

10月22日

ジュニアカヌースプリント秋季大会（市教育委員会主催）が10月22日、久美浜湾カヌー競技場で行われ、選手たちは力いっぱいパドルをこぎゴールを目指しました。

京丹波町と本市久美浜町からジュニアチームと和知中（京丹波町）、久美浜中から39人が出場し熱戦を繰り広げました。

力いっぱいパドルをこぐ選手たち

試合結果〈各部門1位・敬称略〉（K…カヤック　C…カナディアン）

▶小学4年生以下K－1男子　安井堅士朗（久美浜ジュニア）▶同女子　松田あおい（久美浜ジュニア）▶小学5・6年生男子K－1　上田大賀（和知ジュニア）▶同女子　野間知里（和知ジュニア）▶中学生K－1男子　村野武広（久美浜中）▶同女子　梅原佐公（和知中）▶中学C－1男子　鎌田龍（久美浜中）▶K－2男子　村野武広・浦野亮太（久美浜中）▶同女子　梅原佐公・片山みなみ（和知中）

145人が車いすでさわやかな汗

京丹後市車いす駅伝大会

10月16日

第3回京丹後市車いす駅伝大会（同実行委員会主催）が10月16日、市役所峰山庁舎周辺で開催され、29チーム145人が車いすリレーで、さわやかな汗を流しました。

市役所前を発着とした小西川沿いを周回する1・2キロのコース。1チーム5人が車いすをつなぎ、申告予測タイムと実際にかかったタイムの差の少ないチームが高順位となるレース。今年は「フルーツ王国やさか」がタイム差3秒で優勝しました。

大会を盛り上げたマスコットキャラクター

《大会結果》
優　勝　フルーツ王国やさか　3秒差
準優勝　チームたんき　34秒差
3　位　オーちゃんと美女軍団　47秒差

山口国体の結果

第66回国民体育大会に出場し、優秀成績を収めた、市内在住・在学・出身の皆さんを紹介します。（敬称略）

《レスリング》（10月2日～5日／山口県周南市）
▽少年男子55キロ級グレコローマンスタイル②高谷大地（網野高2年）▽同60キロ級フリースタイル①伊藤和真（網野高2年）▽同66キロ級フリースタイル②水野真斗（網野高1年）▽同120キロ級グレコローマンスタイル⑤吉井智仁（網野高3年）

《カヌー》（10月6日～9日／山口県岩国市）
▽少年男子カヤックペア（200メートル）決勝③畑中博貴（久美浜高2年）・高谷琢人（同2年）▽同（500メートル）④畑中・高谷▽少年男子カナディアンペア（200メートル）決勝⑥能勢慎太郎（久美浜高2年）・片山（綾部高）【京都選抜】▽同（500メートル）⑦能勢・片山【同】

全国大会出場者

この秋、各種スポーツの全国大会に出場した、市内在住・出身の皆さんを紹介します。（敬称略）

【第82回都市対抗野球大会】（10月22日～11月1日／大阪市西区・京セラドーム大阪）
▽日本新薬（京都市）内野手・田中一八（23）（福智山成美高卒・峰山町五箇出身）

【第26回日本ペタンク選手権大会】（10月29日～30日／徳島県石井町）
▽女子トリプルス・家原綾乃（70）、藤村泰子（69）、井上紀子（55）

ジオトピックス

世界認定1周年記念

山陰海岸ジオパーク

110kmジオウォークで景観楽しむ

昨年10月4日、山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークへの加盟が認定されたことを記念し、4日から8日までの5日間をかけて、経ヶ岬（京丹後市）から白兎海岸（鳥取市）までを歩く、〝山陰海岸ジオパーク110キロウォーク〟が開催されました。

4日は、間人中の生徒や一般のかた54人が、経ヶ岬に集まり琴引浜までの26キロの道のりを、屏風岩や立岩、琴引浜などのジオサイトを見学しながら歩き、さわやかな汗を流しました。

日本海を眺めながら海岸沿いを歩く間人中の生徒たち（丹後町袖志）

京丹後市の文化財 67

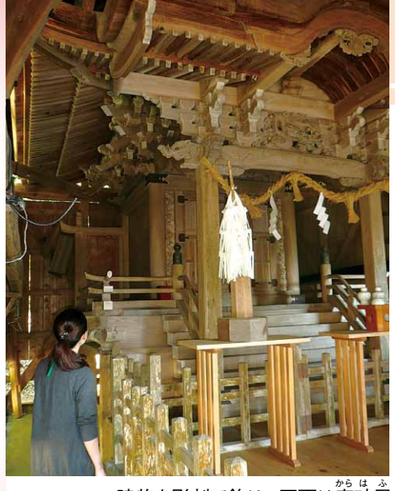
多久神社本殿

（峰山町丹波）

多久神社は、平安時代の『延喜式』（律令の施行細則）にその名が登場する古い神社です。現在地には、今から570年ほど前に移ったと伝えられています。

祭神は、〝万病を治す酒〟を造ったとされる豊宇賀能売命です。そのため明治時代になるまでは、天酒大明神と称されていました。秋の祭礼には、丹波の芝むくり（京都府登録文化財）が奉納されています。

鳥居をくぐり、石段を登ったところに本殿があります。現在の本殿は、文化8年（1811年）の火災の後、文化11年までに再建されました。大工は小原村（現在の弥栄町吉沢）の吉岡嘉兵衛と地元の丹波村の清八と伝えられています。



建物を彫刻で飾り、正面は唐破風造りの本殿

丹後震災に耐え 現存する神社本殿

本殿は、一間社隅木入春日造と呼ばれる形のもので、屋根はこけら葺きとなっています。建物を彫刻で飾り、正面に唐破風を付ける手法は、丹後地域の江戸時代の社寺建築の特徴です。

また、大工として伝わる吉岡嘉兵衛は、興法寺本堂（弥栄町吉沢）や縁城寺多宝塔（峰山町橋木）などの棟梁を勤めています。

その後、昭和2年（1927年）には、大雪で覆屋が倒壊し、さらに同年3月7日の北丹後地震（丹後震災）で被害を受けましたが、修理され、現在に至っています。

多久神社本殿は、丹後震災の後に新しく建築された神社本殿が多い中、数少ない江戸時代後期のものとして貴重な点が評価され、平成16年3月19日付けで京都府登録文化財（建造物）に登録されています。

（文化財保護課）

Pick-up

全国女性消防操法大会　10月19日 横浜市で開催

本市から府代表として出場

第20回全国女性消防操法大会（消防庁、㈶日本消防協会主催）が10月19日、横浜市消防訓練センター（神奈川県）であり、京都府の代表として、京丹後市女性消防隊（袖長照美隊長・8人）が出場しました。

チーム一丸で力出し切る

東日本大震災の影響で辞退した岩手、宮城、福島県を除く44都道府県がエントリー。軽可搬ポンプにホースをつないで放水し、火点（標的）を倒すまでの正確さと速さを競いました。

本市のチームは、約5カ月間に及ぶ訓練で学んだ操法技術を披露。各担当番員がきびきびとキレのある動きやホース展張（伸ばし）など力を出し切りました。

大会を終えた袖長隊長は「結果は、入賞には至りませんでしたが、消防技術の向上や、チーム内の絆を深めることができました。今後の消防団活動に生かしていきます」と笑顔で話していました。

指揮者の号令で、操法を披露する市女性消防隊（10月19日）

京丹後市女性消防隊の皆さん

隊　長	袖長 照美さん	3 番員	中島 理恵子さん
指揮者	山下 理恵さん	4 番員	山本 真琴さん
1 番員	中村 恵美さん	補充員	由良 飛鳥さん
2 番員	朝倉 えりかさん	隊　員	吉岡 紀子さん

「宝くじ助成」で消防関連備品を整備

宝くじの普及を推進している㈶自治総合センターの地域防災組織育成助成事業を活用して、消防関連備品を整備しました。

▶可搬式消防ポンプ　TF305SH（写真）▶吸水管 40 φ× 4.5 m金具付▶けん引ロープ 10 φ× 10m ▶消防用ホース 40 φ×20m　1.3MPa　国検▶台車　DSN-S（横型）▶簡易組立水槽 600L　3 号中継金具付▶ヘルメット▶長靴など

2012年新春企画

みんなの声「わたしの正月」

皆さんの声をお待ちしています

どしどし ご応募ください

2012年新春企画として、市民のかたが参加する紙面づくりを計画しています。

そこで、「正月」をテーマとして、皆さんから「決意」や「夢」、「目標」についての作文、また、それらを表現した「川柳」、「イラスト」などを募集します。応募作品は「広報きょうたんご1月号（12月22日発行予定）」で紹介したいと考えています。

裏面の「応募の方法」をご参照の上、どしどしお寄せください。

投稿封筒の作り方

①点線の切り取り線に沿ってはさみで切り取ってください。
②書いた文章が内側になるように二つ折りにしてください。
③のりしろにのりを付けて貼り付けてください。

切-り-取-り-線

627-8790

料金受取人払郵便

峰山支店
承　認
266

差出有効期間
平成23年12月
2日まで

切手を貼らずにこのままお出しください

京都府京丹後市峰山町杉谷889番地

京丹後市 秘書広報広聴課

「広報きょうたんご」編集係 行

切-り-取-り-線

切-り-取-り-線

切-り-取-り-線

図書館だより

◆開館時間／10時～18時（峰山・あみののみ水曜は19時まで）
毎週月曜・毎月1日は休館日（土日祝日と重なる場合は翌日）

◆貸出／1人20点まで・2週間

◆問／峰山図書館（☎62-5101）大宮図書室（☎69-0672）
あみの図書館（☎72-4946）弥栄図書室（☎65-2101）
久美浜図書室（☎82-1771）丹後図書室（☎69-0664）

11月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	12/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

今月のおすすめ

■ラチとらいおん　子ども向け

マレーク・ベロニカ／文・絵
徳永康元／訳　福音館書店

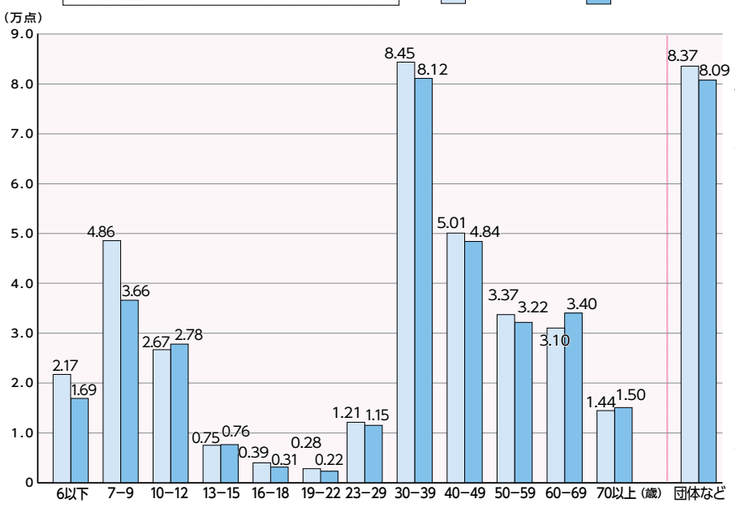
ラチはとても弱虫で怖がりの子ども。ある日現れた赤い「らいおん」に鍛えられ、勇敢な子どもになっていくラチ。強くなることが優しくなること、夢をかなえるためには強くなければならないことをさりげなく伝える、世界中で愛されている絵本です。

■すてきなあなたに　大人向け

大橋鎮子／著
暮しの手帖社

「暮しの手帖」誌に連載されたエッセイ集。日々の出来事やさりげないおしゃれのこと、周りの人への心遣いなどの話を1月から12月まで月ごとに紹介。人を穏やかに優しい気持ちにさせてくれるすてきな本です。

市立図書館の年齢別利用状況



☆子どもの読書は重要

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で必要とされ、その重要性が注目されています。

☆本の貸し出しは30代が8万点

右のグラフは、平成21年と22年の市内で図書を貸し出した数を年齢ごとに表しています。

30代が8万点を超えていますが、子ども向けの本も併わせて借りていることなどが主な要因と考えられます。

また、10歳未満の子どもの貸し出し点数が前年度に比べ減っています。

市立図書館では、市域が広い本市では自力で来館できない子どもが多いことから、個人向けの貸し出しだけでなく、保育所や幼稚園、小学校（＝団体など）へ計画的に本を貸し出し、子どもの読書活動を推進しています。

広報クイズ

今月号に掲載された記事からクイズを出題します。全問正解者の中から抽選で5人のかたに図書カード500円分をプレゼント!

問1「依遅ヶ尾登山」で山頂で参加者が一斉に放ったものは。「○○○」
問2 弥栄町吉沢区で○○年ぶりに太鼓奥が復活
問3 市小学校駅伝で○○学校が2連覇を達成

◆応募方法

はがきに **①クイズの答え（○の中に入る数字や文字）②住所 ③氏名〈ふりがな〉④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報紙の感想やイラスト、まちづくりへの提言など**を明記して、秘書広報広聴課まで（宛先は裏表紙を参照）。なお、いただいた感想やイラストは広報紙に掲載することがあります。**※6番目の項目も忘れずご記入ください。**

◆締め切り

11月24日（木）当日消印有効。当選者の発表は来月号のこのコーナーで。

◆10月号の答え

①文化祭　②食生活　③100

◆10月号当選者

安達 里美さん（大宮町久住）
岡本 正子さん（網野町磯）
小牧 知子さん（峰山町荒山）
桜井 治代さん（丹後町宮）
野村 久栄さん（網野町浅茂川）

応募総数17人、正解者数15人でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

毎月15日は「京丹後市・防犯の日」

「カギかけ」などの身近な防犯対策について、再度ご確認ください。

市職員人事異動

異動［11月1日付］※カッコは前所属

弥栄病院 技術部 臨床検査技師
野木　晴代
（久美浜病院 技術部 臨床検査技師）

久美浜病院 技術部 臨床検査技師
久代　直美
（弥栄病院 技術部 臨床検査技師）

切り取り線

《応募の方法》

❶決意・夢・目標の投稿
・200字から400字程度にまとめ、タイトルを付けてください。

❷川柳（せんりゅう）
・正月にまつわるあれこれを「5・7・5」で表現してください。

❸イラスト
・正月を連想させるものや12年の干支（辰）などを描いてください。

★差出有効期間　平成23年12月2日（金）まで
※この期間中は郵便切手は不要です。

★Eメール、FAXも可
応募は、この用紙を郵便ポストへ投函いただく方法以外に、Eメール、ファクシミリ（この面をそのまま送信ください）でも行うことができます。FAX 69-0901　hishokoho@city.kyotango.lg.jp

詳しくは、問 秘書広報広聴課へ　☎69-0110

★その他（ご注意など）

※写真（投稿者の顔またはイメージ写真・❶については投稿内容のイメージ写真）も同封してください。

※左記のテーマを募集しますが、そのほか広報紙への感想やまちづくりへの提言などをお寄せいただいても結構です。

※住所・氏名・年齢・電話番号・匿名希望の有無（有の場合・ペンネーム）を明記してください。

投稿内容の確認のため、広報担当から投稿者のかたへ直接電話をさせていただく場合があります。
個人情報は、お問い合わせや「2012年新春企画みんなの声」以外には利用しません。
（住所は町名と行政区名。年齢は年代。氏名は本名か匿名の希望に応じてペンネームを掲載します。）

切り取り線

のりしろ

投稿作品（複数可）

□決意・夢・目標　□川柳　□イラスト

└作品タイトル

⇨点線を軸に内側に折り込んでください

切り取り線

【住 所】京丹後市　　町　　番地

【氏 名・ふりがな】

【年 齢】　　歳【電話番号】（☎　　－　　）

匿名希望の有無　　有・無
有の場合　ペンネーム　（　　）

のりしろ

切り取り線

のりしろ

kyotangojin

京丹後人 19

峰山高等学校軽音楽部

前部長 西田（にしだ） 優奈（ゆうな）さん（3年）
宮津市須津（すづ）

前副部長 竹中（たけなか） 絵理（えり）さん（3年）
大宮町口大野

グランプリ大会出場を決めたメンバーたち（前列右端が西田優奈さん、同右から３番目が竹中絵理さん。２列目右端は顧問の木下美幸教諭、後列右端は外部顧問の山田勝さん）

軽音楽の甲子園へ 目指すは119校の頂点

峰山高軽音楽部が、高校・中学校の軽音楽系クラブコンテスト「We are Sneaker Ages」（通称、スニーカーエイジ）のグランプリ大会に出場する。今冬「舞洲（まいしま）アリーナ」（大阪市此花（このはな）区）で開かれる夢の舞台で、軽音楽の頂点を目指す高校生たちの素顔に迫った。

◆ ◆ ◆

この大会は、昭和54年にスタートし、今年で32回目。全国の軽音楽系クラブが集う〝甲子園〟ともいわれている。「信頼、友情、感動を手にし、照れることなく感謝の言葉を言えること」がテーマの一つ。リズムや歌唱力などに加えて、応援する部員も含めたマナーやエチケットも審査の対象になることが特徴のコンテストだ。バンド単位で活動している同部にとっては、部員が一丸となって取り組む唯一の機会でもある。

バンド編成は、部員58人の中からオーディションで選ばれた2、3年生の男女11人。チームを引っ張る前部長でメンバー代表の西田優奈さん（18）と前副部長の竹中絵理さん（18）は、昨年のグランプリ大会の出場経験者でもある。

予選会は、8月12日から10日間にわたって大阪市で開かれた。メンバーたちはバラードとアメリカンロックの2曲で挑み、優秀賞校（予選ブロック1位）に選ばれた。参加119校中5位という全体成績で、2年連続3回目のグランプリ大会への出場権を手にした。

「この仲間となら夢はかなうんじゃないかなって（予選会を終えて）率直に思えました」。優奈さんは、グランプリ大会の目標を1位に据えた。「今年は自信があります」と、絵理さんも頂点を狙っている。「自信が持てるだけの練習を積んできた」と二人は胸を張る。

彼女たちの活躍が注目され、地元のイベントで演奏するなど、活動の場も増えた。今夏の「フェスタ飛天」では、息の合ったパフォーマンスで会場を盛り上げた。10月末に市内で開催されたASEAN（東南アジア諸国連合）観光連盟国際会議での夕食会では、関係者たちを前に堂々と演奏するなど多くの経験を積み、技術を磨いてきた。

「挑戦する心を持ち続けることの大切さを知り、信頼し合えるかけがえのない仲間に巡り合えました」（優奈さん）。「気持ちが一つになれば、言葉を交わさなくても分かり合えるんだって実感しています」（絵理さん）。外部顧問の山田勝（まさる）さん（40・峰山町古殿（ふるどの））は「自己満足に終わることなく、みんなの心に響く演奏を」とエールを送る。家族や部活仲間の声援が、メンバーを後押しする。

グランプリ大会は12月25日。予選会を勝ち抜いた20校が熱戦を繰り広げる。メンバーたちは、支えてくれた人への感謝の思いを込めてステージに立つ。

（大会公式ホームページ http://www.sneakerages.jp/）

つぶやき

▼文化、芸術の秋といわれます。皆さんは、「国民文化祭・京都２０１１」には参加されましたか？私は、10月30日（日）の「小町ろまん『短歌大会』」に参加して、1万７１５９通の応募の中から入選されたかたの短歌を拝見しました。どの短歌も、私の心の中にすぅーっと入ってきて、楽しかったり、苦しかったりした情景が目に浮かんできました。▼たった31文字でも、いろんなことを表現できるんだなと思い、恥ずかしながら私も一首。

勢いで
走り続ける我を見て
「ちょっと休め」と
香るブラック

▼…まだまだ修行が足りませんね／遼

人口・世帯数

男	29,252人	（－35）
女	31,290人	（－7）
計	60,542人	（－42）
世帯数	22,221世帯	（＋4）

10月1日現在、カッコ内は前月比。
住民基本台帳による。

手洗い・うがい・消毒で風邪を未然に防ぎましょう

発行／京丹後市役所　編集／秘書広報広聴課
〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷 889
☎0772-69-0110 FAX0772-69-0901
HP http://www.city.kyotango.lg.jp
hishokoho@city.kyotango.lg.jp